

令和5年度「学校教育活動に関するアンケート」アンケート結果のお知らせ

軽暖の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校では令和5年度の白鳥中学校の取組を振り返るために、「学校教育活動に関するアンケート」を実施いたしました。保護者の皆様におかれましては、ご多用の中アンケートにご協力いただきましたことに感謝申し上げます。アンケートの集計結果につきましてご報告いたします。

アンケート11項目（保護者は12項目）について、生徒・保護者は同じ内容で、次の5段階で評価をしています。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ よくわからない

※各設問、生徒への質問は(生)、保護者への質問は(保)で表記しています。

グラフは、それぞれ割合(%)で表示しています。

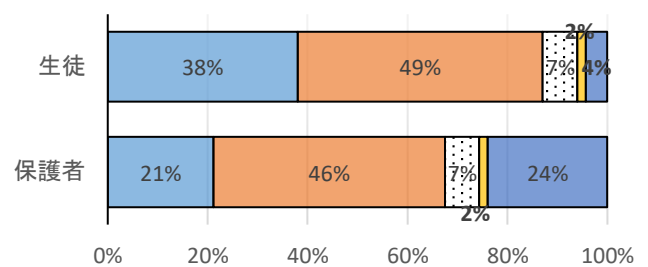
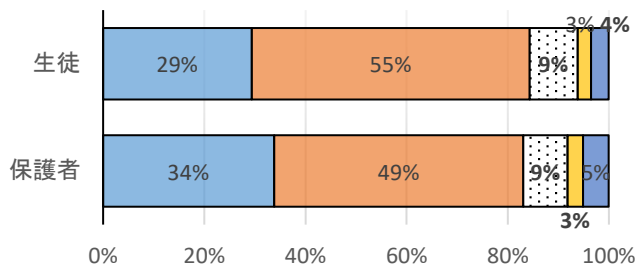
【確かな学力の育成 ～確かな学力を身につける教育の推進～】

①(生)授業に意欲的、積極的に取り組んでいる

(保)おさんは授業に意欲的、積極的に取り組んでいる

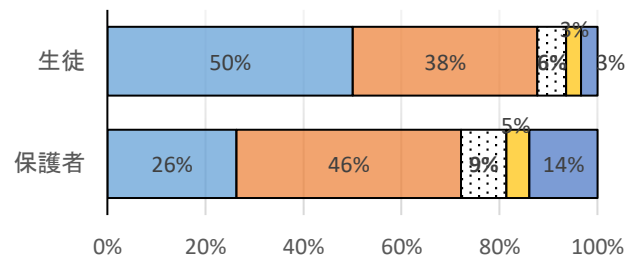
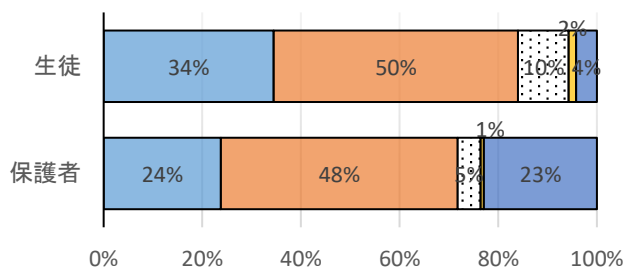
②(生)先生は、授業を工夫し、わかりやすい授業を行っている

(保)先生は、授業を工夫し、わかりやすい授業となるように努めている



③(生)(保)先生は、落ち着いて学習に取り組めるような環境づくりを行っている

④(生)(保)GIGA 端末を授業等の学習やその他の活動で有効的に活用している

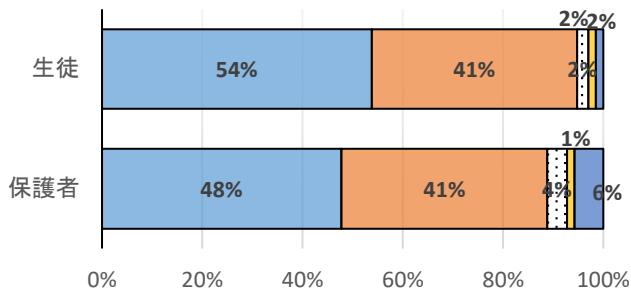


確かな学力の定着に向け、生徒一人一人が「わかる」と実感できるような授業づくりと、学習目標の実現に向けた指導と適切な評価を目指した学習指導に努めてきました。87%の生徒が「授業は工夫されわかりやすい」と答えています。さらに妥当性と信頼性のある学習評価を行い、授業や面談などの機会を活用して評価方法や内容について丁寧に説明していきたいと考えています。今後も学ぶ意義を実感できる授業、生徒一人一人が「わかる」授業を目指して取り組みます。また、GIGA 端末の授業内での有効活用を図り、課題の解決を目指した主体的な学習や、自分の考えを深めたり広げたりできるような活動の充実に努めます。

【社会性の育成 ～自ら考え、判断し、表現する力を育成する教育の推進～】

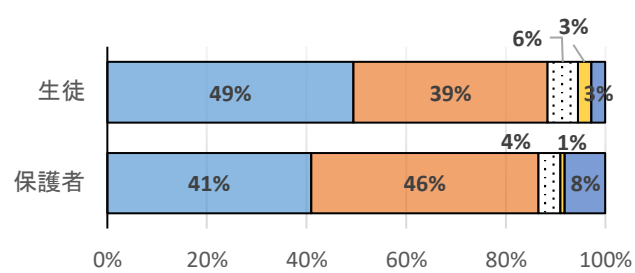
⑤ (生) 学校や社会生活のルールやマナーを意識して行動している

(保) お子さんは、学校や社会生活のルールやマナーを意識して行動している



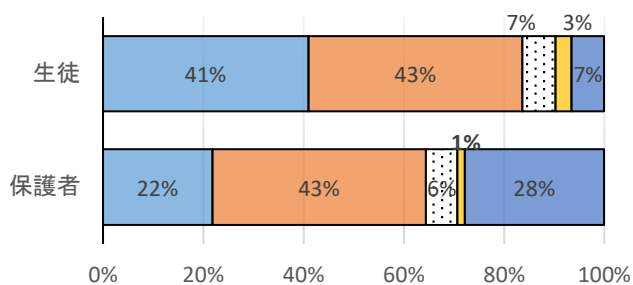
⑥ (生) 学校行事や委員会活動などに積極的に取り組み、皆と協力して活動している

(保) 先生は、生徒が学校行事や委員会活動、部活動などを通して好ましい集団づくりに努めている



⑦ (生) 先生は、将来の生き方や夢について考える学習を行っている

(保) 先生は、生徒が将来の生き方や夢について考える学習を行っている

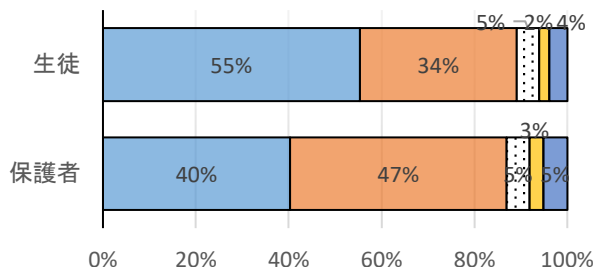


88%の生徒が積極的に学校行事に参加し、自分の役割に責任をもって活動していることがわかります。集団生活にとって大切な学校や社会生活のルールやマナーを意識して行動している生徒は95%おり、引き続き、生徒が主体となって取り組み達成感を得られる学校行事を目指すと共に、豊かな心を育てる教育を推進していきます。将来の生き方や夢について考える学習については84%の生徒が肯定的に捉えています。これからも体験的な活動を取り入れたキャリア在り方教育の充実を図り、自己肯定感・自己有用感が高まり将来の展望を描くことができる生徒の育成を目指していきます。

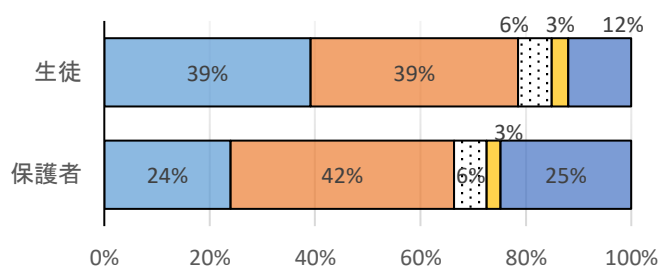
【健やかな心身の育成 ～健やかな心身を育成する健康・安全教育の推進～】

⑧ (生) 学校生活が楽しく、充実している

(保) お子さんは、楽しく、充実した学校生活を送っている

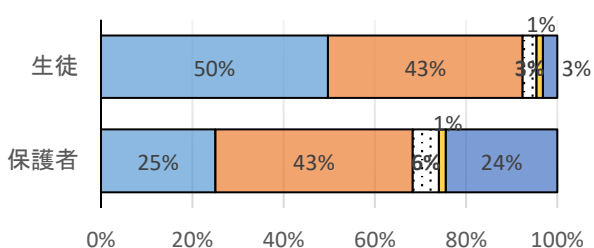


⑨ (生) (保) 先生は、生徒の悩みや相談事に対して、適切な相談に応じている



⑩ (生) 周りの人に対して思いやり・認め合いの気持ちで接している

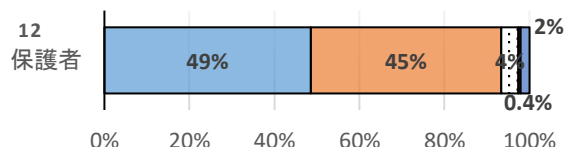
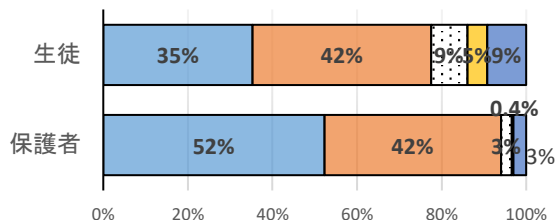
(保) 先生は、生徒が思いやり・認め合いの気持ちをもてるような指導に努めている



他者を思いやり認め合う気持ちをもって接している教員の相談しやすさ・対応について生徒は概ね肯定的な回答としていますが、否定的な回答が生徒・保護者ともに9%あることから、より丁寧で適切な対応が求められていると捉えています。生徒の困り感を早期にキャッチしたり、相談しやすい雰囲気を作ったりして、学校に自分の居場所があると感じられるように努めていきます。

【開かれた学校づくりの推進 ～多様な出会いを大切に、共に学ぼうとする教育の推進～】

- ⑪(生) 保護者は、授業参観や学校からのお知らせなどを通して学校の様子を理解している
- ⑫(保) 学校は授業参観や保護者会など、保護者が出席できる機会を十分に設定している
- (保) 学校は、学校日より、学年通信やお知らせなどで、学校からの連絡や情報の発信を行っている



学校掲示板、ホームページの随時更新、学校便りや学年便り等で学校の情報を発信しました。また、年間を通じて学校公開日を多く設定し、保護者が学校に来る機会を設定しました。

【全体を通して】

多くの生徒達は落ち着いた学校生活を送り、学習や行事においても意欲的な取り組みが見られました。8～9割の生徒がどの項目にも肯定的な回答をしております。しかしながら、不安を抱いている生徒やアンケートの各設問に対して低い評価で回答している生徒もおります。生徒一人一人にしっかりと目を向け、個々に対応した支援をしていかなければならないと考えております。

次年度においては教員の指導力を高め、教科・学習指導はもとより、心の教育、支援教育、キャリア在り方生き方教育など、現在求められている教育課題に対しての取り組みを充実させていきたいと考えております。そして、教職員自らが生徒に対して思いやりの心を持ち、生徒との信頼関係を構築できるように取り組むと同時に、生徒を主体とした諸活動を推進していきたいと考えております。

今年度は保護者の皆様や地域の方々に生徒たちの生き生きした活動を参観していただく機会が増えました。今後も共に生徒達を見守っていただくことができるように参観や活動の場を多く設定していきたいと考えております。今回いただいたご意見を参考にして、次年度に向けてよりよい学校づくりのために改善を図りたいと思います。来年度も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いたします。